

# 全 年

NO. 214

1 / 51



## 第一歩の年

二十世紀は人類にとって、まことにめざましい発展と進歩の時であった。しかしそれは、あくまでも文明論的な立場に立っての評価である。本質論的には、昔も今も、人類は少しも変わってはいない。貪、瞋、痴の三毒に悩み、相も変わらず無明そのものの存在に変わりはない。

せっかく新年の「おとそ」気分のところへあえて水をさすようなことを…と思わぬでもないが、今一度そのことを考えて見たい。あまりにも文明論的な立場にばかり目を向けすぎて、本質的なものを見失なってきたように思えてならない。そこに気づけば、科学万能とか、人間万歳等と、とてもいい気になってばかりはいられまい。仏教は私にそれを教える。

これからの二十五年、残された四分の一世紀を如何に生きるか。これこそまさに二十一世紀への方向を決定するのに重大な意味をもつ。今年はその第一歩の年である。

(T・K)

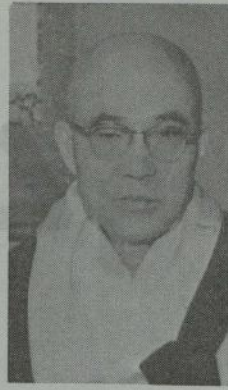
写真はバンクラディッシュ・タッカの孤児院で救済金伝達のあと孤児たちに囲まれて(6面記事参照)

# 昭和51年の年頭に當って

## 日本仏教徒の使命

全日本仏教会会長

岸 信 宏



明けましておめでとうございます。

昨年の全日本仏教徒会議の第二十三回兵庫大会が「人類の不安にみ仏の光を」というスローガンのもとに盛大に行われましたことに対して関係者の努力に深く感謝の意を表します。その決議と宣言とにおいて、先進国も発展途上国も互にそのエゴイズムを超越して、人類共同体の世界建設に努力し、福祉と平和とを優先する世界の建設のために、自利他他、相依相助の仏教精神を世界の人間に光被せしめなければならぬことが強調せられたのであります。

仏陀の光は尽十方無礙と称せられ、一切の衆生には悉く仏性ありとするのが、仏教の根本精神でありますから、強国が陰に軍備の拡張に熱中して、世界に覇を

となえようとするような政治的意図を捨てて、真実の平和の世界を建設するよう  
に覚悟をしなければならんと思えます。  
世界を一つの連邦にしようとする世界連  
邦の運動も行われているのであります。  
世界各国が仏教の僧伽の精神を発揚する  
ことであります。

本年の全日本仏教徒大会は三重県仏教

## 日々の新らしい出発

全日本仏教会副会長

樽 林 皓 堂



新年おめでとう。とかく人間はマンネリに陥り、どの面において

も新鮮味を失いがちである。そういう意味ではいつも新しいものを目指してゆくべきである。生活設計にしても、事業、経営、研究、布教教化にしても、つねに新しい工夫をこらし、今年は是非これ

会が主催することになって  
います。良識ある世界の  
の人々や国家が平和を念  
願しながら、暴力や戦争  
が絶えないのが実状であ  
ります。今次大戦後、自由と解放との思  
想が誤った方向に進み、現在の体制に抗  
する運動となり、国家を忘れ、伝統を無  
視した憂うべき行為が国の内外に広げら  
れつつあることはまことに悲しむべきこ  
とであります。

こうした現状に対して、一方には有識  
者の間に「日本を守る会」というのがで  
きて、強力な運動を進めています。日本  
の伝統の上に大きな影響を与えて来た日  
本仏教徒の使命の大きいもののあること  
を信じます。

を、というようにしてゆかぬと成果があ  
がらない。

そこで昔から「一年の計は元旦にあ  
り」などといわれているが、実は新年の  
計は旧年のうちに、十分ねっておかねば  
ならない。元旦早々、雑煮を食べなが  
ら、さて今年は何をしようかなではおそ  
い。旧年中に十分ねったものを、きょう  
からはじめろぞ、という発音が新年のこ  
とほぎであるべきだ。そうすればおとそ  
は門出の祝盃ともなる。それならば「三

## 謹賀新年

財団法人

### 全日本仏教会

会長 岸 信 宏

副会長 竹 村 教 智

理事 山 田 恵 諦

理事 樽 林 皓 堂

理事 神 田 寛 雄

常務理事

神 原 玄 祐

近 藤 本 昇

浅 井 堅 教

野 村 宗 春

嶺 藤 亮

江 西 寛 堂

芳 賀 達 宗

栗 本 俊 道

大 石 好 文

山 本 ス ギ

南 谷 恵 澄

立 部 瑞 祐

岩 城 秀 雄

岡 野 正 道

別 所 弘 因

稲 岡 憲 順

鎌 田 幸 磨

宮 部 哲 磨

田 辺 公 允

渡 部 宣 泰

貝 山 光 顕

木 村 光 顕

清水 谷 孝 尚

味 岡 良 戒

藤 音 晃 祐

理 事

岩 立 南

城 部 瑞 祐

秀 雄

清水 谷 孝 尚

味 岡 良 戒

「カ日」ゆっくり休んでというの、「松の内」はのんびり温泉につかって、というの意義あることになる。

宗教家はいつも、きまじめなことをいうのが常であるから、一休さんは一つ歳をとった、それだけ「あちら」が近くになりましたネ、といったそうだが、ユーモラスな一休さんとしては、こうした真正の言葉もできるのだから、道元さまはそういわず、「オヤいつ新年になったんですか」と、きのうの大晦日（おおみそか）と、今日の元旦と、しきりはどこにあるのか、おかしいですね、きのうのまま今日になっている、なぜ人間だけが

# 今や重大な転換期

全日本仏教会理事長



謹しんで新春のおよろこびを申しあげます  
二十世紀に残された  
四半世紀、これは人類にとって極めて重大な意味をもつものといえましょう。

つまりこの二十五年間の人間の生き方如何が二十一世紀を方向づけるものであるとさえ思うからであります。  
人類は過去から現在にいたる間、あらゆる可能性を追求してやみませんでした。その結果もたらされた果実は誠に数知れず、思慮に浴することもまた多大で

旧年だ新年だというのだろう、といっています。これは「悠久の時の流れ」というがわからいうのだが、道元さまはさらに、いや、きのうのまま今日になっている、ともいっている。

けっきょくそれは、昨日のままで、しかも今日の自分だが、新しい年をむかえた今日のわれわれは新鮮な気持ちで、きのうのつぎをやる、やれというのだろう。一貫するものをふまえて、日々新しい出発をとというわけである。不連続の連続に立って、即処せたいの生きかたをする。それ以外に道はない。

神田 寛 雄

あります。

しかしまた、その反面には、文明社会のひずみが数々生じたことは今や誰しも否定することの出来ない事実となりました。人類は今や重大な転換期を迎えたと申せましょう。進むばかりではなく、時に退くことにもやぶさかであったてはなりません。

これからの二十五年は正にそうした反省の時代といえましょう。  
この時にこそ私専らによって示された仏教が人類になくしてはならない光明であります。世間には仏教はずでに形骸化したとさえ評価するむきもあるようであります。私達は今こそ仏教本来の使命を達成

すべく決意を新たにしたいものであるとあります。各位の益々の御健勝と御活躍を念じて新年のごあいさつといたします。

## 組織専門委員会開く

十一月十五日午前十一時より、全仏会議室において組織専門委員会が開かれ、明年五月開催の全日本仏教徒会議三重大会に対する全仏側の基本的姿勢について協議した。大会趣旨、スローガン、などについて意見をまとめ近く三重県仏との打ち合せを行う予定である。

出席者（順不同・敬称略）

板橋宥成、神野真一、郡司博道、岩本英樹、大多喜義忍、船口暉子、土持良栄（熊野竜夫代理）

## 賀正

財団法人

### 国際仏教興隆協会

名誉総裁 岸 信 宏  
会 長 賀 屋 興 宣  
理 事 長 巖 谷 勝 雄  
役 員 一 同

東京都目黒区中目黒五十一四一五三  
祐天寺内  
〒133 〇三（七二）七六〇八

保田純精 服部景壽  
大友謙 桜井雄  
神村拙底 奥田行朗  
町田宗夫 岡田秀  
長谷川 信 石川隆惇  
黒田白純 土田真也  
熊野竜夫 横井鶴洲  
村瀬良彦 佐藤覚雄  
山口公教 花田英忠  
中山理々 事務総局

東京都台東区西葛草一ノ五ノ五  
〒111 〇三八四（三六）三四二  
事務局長 桜井大乗  
事務次長 樽井正浩  
総務局長 白川良純  
組織局長 加藤海晃  
国際文化局長 清胤徹昭  
他 職員一同

関西事務局  
京都市下京区丸太町七条上七  
真宗大谷派事務所総務部内  
〒600 〇七五（三七）九一八  
事務総長 大友謙  
組織部長 曾田幸有  
国際部長 北島経昭  
教化部長 山家恵誠  
文化部長 斎藤隆誠  
審議部長 後藤純一  
総務部長 能邨英士  
他 職員一同

# アンケート

## 新らしい年へこう思う

（順不同）  
敬称略

- (1) 今年の仏教会はなにをなすべきか。
- (2) 人類の不安に仏教者はいかにあるべきか。
- (3) 我々は全一仏教運動になにをなすべきか。

### 仏教会の組織統一を

大阪府仏事務局長 川口 良信

- (1) 政治への働きかけ、特に政府中に宗教局ないし仏教局の新設をすべく運動して、日本の文化的宗教情操教育に力を入れさすべしと思う。
- (2) 若い教師の組織化（仏青文化部等）と仏教行政の基礎をきずいてゆきたく研修会を定期的に行う。
- (3) まず都道府県の仏教会の組織化をすすめ、全仏の宗派総大本山依存をなくすべきだと思う。全仏運営はわれわれ単位仏教会の組織化の上に立たなければ全一仏教運動はありえない。

### 平和と幸福の探究

組織専門委員長 新聞 信雄

- (1) 一般の科学的社会主義と宗教との対

### 菩薩行に勇猛精進

国際専門委員長 岡野貴美子

- (2) 人類滅亡の危機をはらみ激しく流転

話、すなわち池田—宮本会談以後、救国革新を目的して宗教キャンペーンがしきりにおこなわれているが「仏教と科学的社会主義即唯物論的社會主義」はどうかわるか、ひとつみんなで討議すべきことでしょう。

- (2) 人類の不安は平和と幸福をおひやかすものは何か？とつきとめることでしょう。科学の進歩と宗教は「人類の」「地球の」平和と幸福にどうあるのかを探求すること。
- (3) 各宗の教化担当者会議の意義をその目的を再検討して各宗がその孤立化独自の垣を越え、大乘仏教の原点にたちかえって、それら研修討議をなし、充実したる論議を提出すべきではないか。

### 仏教会館の建設を

国際専門副委員長 新美 孝道

して止むことのない現代に生きる私達仏教徒は今こそ、その本来の使命に目覚めて本仏積尊の仏勲をすなおに正しく捧持して、自覚覚他の精神を国内のみならず、全世界に及ぼさねばならないと存じます。そのためには私達仏教徒一人一人が全人類のために生命を惜しまないという菩薩の心を自らの信念として実践することです。私は仏教徒の一人としてこれからも、この信念を日夜持ち続けて菩薩行に勇猛精進して参る覚悟しております。

- (1) 全日本教会は、先ず全日本仏教会館を本年中に建設することが至急になすべきと存じます。

東京都区内の寺院の空地を買い上げまたは借用して三階建て地下一階その屋上に仏舎利塔を建て、仏舎利を奉安することがいよいと思えます。

建設費は各宗各団体及び東京寺院を勧募すれば出来ると思えます。

尚事務局で決定すれば、会館建設委員会をつくり、委員十五名位で発足することが必要と存じます。

### “明日あると思わず…”

国際専門委員 花山 勝友

- (1) 他に対して「何かをなすべきである」と言うのは易しいが、省みて「自分が何をなすべきか」と言うことは難かしい。

“ローマは一日にしてならず”という諺にあるように、仏教会が、このわずか一年の間に急に変化することはあるまい。しかし、この一年の積み重ねが、将来の仏教発展の因とも縁ともなることだけは確実である。

自身の反省としての、「明日あると思わず、今日一日に全力を尽くす」ということを、今年の仏教会に望みたい。

### 全仏存在理由の確認

国際専門委員 古宇田亮文

- (1) 過去に全仏に関係して頂いた役員の方々に参加頂き、意見の交換をされ、今まで全仏は国内外において何をすべきか、またどんなことなら出来るか、たとえば全仏（県仏でない）としての通仏教の解釈、全一仏教運動の統一的理解を出されることに全仏の発展の鍵がかかっていると思う。このままの全仏であるが無用の長物とみられたり、いたずらな過大な期待を受けることになる。今年より全仏の存在理由を内外にハッキリ確認して頂きその上で事業を進めて欲しい。
- つぎに全仏の健全な発展のために全仏

役職員の任期を延ばし、特に職員の特遇、厚生を宗派並みにできるよう大いに努力して頂きたい。眺みたいに全仏会館を急ぐと、いつも職員にしわ寄せがくる。

### 教化資料の公開施設

国際専門委員 松涛 弘道

(1) 仏教会は人によって活きるものであるから、その人びとにはげましと慰めを与えられるような指針を總体的にも個別的にも打ち出すようにしたい。

(3) 各仏教団体や出版社からの教化資料を集めて公開するような教化資料センターの設立。仏教年鑑の発刊。仏教者の研修、修養施設ならびに開催期日等を取りまとめた案内公報を衆知させる。

### 仏教年鑑の出版を

国際専門委員 佐伯 真光

(2) 仏教国日本でありながら、当然あるべきなのに無いものがある。それは権威ある仏教の年鑑である。年鑑一つ出せないようでは、世界一の仏教国たることを自負する資格がない。世界仏教徒会議が開かれる昭和五十三年までには、せひとも継続的な事業として、仏教の年鑑の出版を始めるべきだとおもう。

戦後、仏教大年鑑が二冊出版された。しかし、毎年出版されない限り、本当の意味では年鑑とよべない。失敗の原因はページ数の多い、仏教百科便覧の如きも

のを企てた点にあった。これからの仏教年鑑は、むしろページ数を少くして、内容を日本仏教の統計、宗派資料、および人名録にかぎり、永続性あるものにするべきだとおもう。

### 英語通訳学生の特訓

国際専門委員 村野 宣忠

(1) 昭和五十三年の世界仏教徒会議に備えるために、仏教系大学への本年度入学者より英語通訳志願者を募集し、これに特訓を施すこと。学生は仏教学部の学生に限定することなく、ひろく他学部よりも募集すること。特訓は東京と京都の全仏事務局において週一回行うこと。費用は全仏負担とすること。

### 一つでも実践運動

文化専門委員長 真溪 義貫

(1) なすべきことは山ほどある。ただ実践を伴わないフィリングなんて現実を何も動かすことのできないアワミたいなものである。従って一つでもよいからしっかりした足どりで実践運動を展開してほしい。

(2) 仏教精神に基く未来社会を設定してその実現に全力を挙げるべきである。仏教的発想による全生涯計画(ライエ・サイクル)を提示することもその一つである。

(3) 宗派エゴイズムを超越して仏教共同

体の体制を確立すべきである。

### インド再遊を終えて

文化専門委員 若林 隆光

(2) 人類の不安が精神的なものとのみ考えるのは日本人の無知乃至不遜ではなからうか。仏教有縁の地インドを取上げるだけでも、人類の不安は決して精神的な面からだけ取上げるべき問題ではないように思われる。いつでも衣食や盗賊となり得る大群集を、更にその予備軍としての未就学、文盲の児童たちを放置して、仏教者が人類の不安について語る事が果して許されるのだろうか。高度成長の余波を軟く前に、真の慈悲とか布施とかのあり方について、もう一度じっくり考え直してみたいというのがインド再遊を終えた現下の心境である。

### 釈尊教説への回帰

文化専門委員 中根 専正

(1) 全日本仏教会の中心センター会館を建てるべく準備してほしい。  
(2) 人類の不安はまた個々の不安でもある。自信教人信という如く、自己の信仰の確立から、これを広く世界におよぼしたい。

(3) 全一仏教運動のためにあらゆる仏教の各方面の活動をあげて平和社会建設に向いた、各宗共用出来るテキストを作成すること。釈尊の根本教説への回帰が必要と思う。

### 理念と方法の研究

文化専門委員 金岡 秀友

(3) 理念と方法を具体的に、継続的に研究しなくてはならないと思います。まず一つは、全一仏教運動は仏教単一化運動とは根本的にちがうこと。宗派の成立や歴史には、人間的・歴史的根拠があるので、これを画一化せんとすることは無意味でもあり不可能であります。しかし、今日の宗団が、その必然性を活かす方向に働いているかは全く別問題で、その多くが利益集団化すおそれのあること、この傾向の回避・是正が第二の問題になると存じます。難事の中の難事です、これなくしては仏教教団は亡びるでしょう。

### 人間教育に取り組め

文化専門委員 井上 日宏

(2) 精神的処理の重要な時は、仏教者自身中道を進むという考え方から自らの社を正すことである。

今こそ各地域仏教界は協力して人間性を回復した物の観方、受とり方、考え方の出来る宗教的人間をつくるべく、人間教育の問題に宗我を超越してとりくむべきである。宗教という名詞ではなく、宗教的という形容詞、即ち理念や心のかまへの問題である。そこに教育の出発点を求めてほしい。教育は子供の問題である前に、大人自身の責任の自覚にあるのである、教育問題は、仏教者自身が修練の意

味をふまえての甘えをゆるさない教育、即ち行学の二道ならば、行道中心の教育に重点をおく必要がある。知識や理論は無用のものではないが、人間性回復の躍動の原点にはならないし、終末観の理屈も人類を不安におとしいれることはあっても救いにはならない。

今こそ仏教界は、原点に立って人間教育の問題にとり組むべきである。

### 真の仏弟子なり

文化専門委員 稲垣 俊夫

(2) 仏教者にみずから徹底して成りきること。仏教者という言葉はあいまいです。「真の仏弟子」になること、といい直した方がいいようです。われは真の仏弟子なりや。「仮の仏弟子」「偽の仏弟子」に非食や。真の仏弟子とは？ また真の仏弟子になるとは？ 等々の根本問題との対決ぬきの論議、運動、対策等には、意味がないような気がします。如何ですか。私は仏教者であると決め込んで、そこに安心して座り込んでいては、どうにもならないように思うのですが。

### 聖歌普及の具体策を

文化専門委員 伊藤 完夫

(3) 日本の仏教界は宗派教学が分れすぎていて対立している観がなきにしもあらずという事で、まずこの垣を外すためには、通仏教的な会合をもち融合親和の雰囲気醸成することだと思ふ。そのよ

うな運動を推進するには仏教各派共通の新しい聖歌を（または聖歌集）作りこれが普及のため各派宗務所に所属する音楽関係者を糾合してまず聖歌普及のための具体策を練ってみることだと思ふ。

### 自分の身の回りから

文化専門委員 島田喜久子

(2) 人間生きている限り不安からにげる事はできない。殊に現代社会は不安が多いので、不安神経症などという病気まで

### バンクラ孤児救援金の残金を手渡す

WFB常務理事会の途次

バンクラ孤児救援金は、皆さまの協力により八百万円を越す浄財が寄せられて、六月には第一次として五百三十万円が手渡されたが、今回残金を持って、十二月六日清胤国際文化局長、鎌田国際部長が、WFB常務理事会出席の折に立寄って、皆様の善意を伝達し、救援金を贈呈した。（詳細報告は次号）

なお、その後にもご寄付があり総計は八百十九万九千六百二十八円となった。

記

一金 十万八千七百円 芝仏教会・東京

内訳

一組四千元 二組一万二千円

三組七千元 七組七千五百円

八組八千五百円 九組六千元

ある。不安解消には仏教者は如何に対処したらよいか。とてもむずかしい問題である。そんな大きな事はできないが、先ず自分が仏教者として恥かしくない生活をすることが大切ではないだろうか。私は今度病気をして死の不安はなかったものの失明という不安におそれ、お経をよむ事と、念仏を称える事しかない入院生活をさせて頂き、つくづく有難いと思つた。経験した人でなければ解らない不安を、少しでもやわらげようと小さな事だけれど自分の回りから努力をしている。

十組七千二百円 十一組二千元  
十二組九千元 十三組十一万円  
十四組三万四千五百円

### 賀正

財団法人

仏教振興財団

月刊誌「心の糧」

理事長 竹村 吉右衛門

事務局長 長瀬 貫公

東京都台東区浅草二の三の一  
浅草寺内  
〇三八四二〇二八一 内線三元

### 謹賀新年

社団法人

全日本仏教婦人連盟

会長 大谷 智子

副会長 一条 智光

岡野 貴美子

理事長 山本 杉

事務局長 船口 暉子

事務所  
東京都世田谷区桜上水四一九七  
〒〇三三三〇二一五九八

近代仏教研究会

壬生 照順

台東区元浅草一ノ一七

# 新年賀謹

## 真宗大谷派

法主 大谷 光暢

宗務総長 嶺藤 亮

参務 大友 謙

” 本多 敬虔

” 和田 耕正

” 清 亮

総務部長 能邨 英士

京都市下京区烏丸七条上ル  
〒600〇七五(三七二)九一八一

## 真言宗豊山派宗務所

管長 鳥居 敬誉

宗務総長 浅井 堅教

総務部長 中川 祐俊

財務部長 久保 埜太清

教務部長 田中 文盛

教化部長 吉田 俊誉

総本山長谷寺  
東京出張所長 門屋 大寿

東京都文京区大塚五十四〇一八  
〒112〇三(九四五)〇六三九(代)

## 真言宗智山派宗務庁 総本山智積院法務所

管主 芙蓉 良順

宗務総長 寺務長 別所 弘因

総務部長 小沢 照禧

教学部長 岡田 昌道

法務部長 岡本 実良

教化部長 斎 隆套

出張所長  
別院執事 小宮 勝憲

京都市東山区七条東瓦町九六四  
〒605〇七五(五四一)五三六一

## 念法真教教団 総本山金剛寺

灯主 小倉 靈現

大阪市鶴見区緑三十四一三二  
〒538 〇六(九二)二二〇一

## 孝道教団

大統理 岡野 正道

統理 岡野 正貫

副統理 岡野 貴美子

横浜市神奈川区鳥越三八  
〒221 〇四五(四三三)二一〇一

# 謹 賀 新 年

## 黄檗宗大本山万福寺

管 長 安部 禅 梁

宗務総長 近藤 正典

財務部長 武内 永昌

庶務部長 中山 通 巖

教学部長 山中 建 一

宇治市五ヶ庄三番割三四  
〒611 〇七七四(三三)三九〇〇

## 真言宗御室派 総本山仁和寺

門管 跡長 森 諦 円

宗務総長 執行長 立部 瑞 祐

外役職員 一同

京都市右京区御室大内三三三  
〒616 〇七五(四六一)一一五五

## 本門 仏立宗

講 有 小山 日 幹

宗務総長 参 議 加藤 日 類

参 議 御 牧 日 勤

速 水 日 信

田 辺 秀 太 郎

福 井 正 雄

伊 藤 信 之 助

京都市上京区御前通一条上ル  
〒602 〇七五(四六一)六五四二

## 新義真言宗 総本山根来寺

座管 主 長 関 尚 道

宗務総長 下 平 耕 道

根来寺 寺務長 環 俊 賢

和歌山県那賀郡岩出町  
〇七三六六(〇)一一四四

## 聖 観 音 宗 金龍山浅草寺

管 長 清水谷 恭 順

宗務総長 壬 生 台 舜

東京都台東区浅草一三三十一  
〒111 〇三(八四)二〇一八一

# 新年賀謹

浄土宗総本山 知恩院

門主 岸 信宏

副門跡 小林 大巖

執事長 鶉 飼隆 玄

副執事長 白幡 憲 佑

〒605 〇七五 (五三二) 二二一一  
京都市東山区林下町

浄土宗大本山 増上寺

法主 大野 法道

執事長 宮嶋 了道

執事 楠 美知行

〃 原口 徳正

〃 多賀谷 崇峰

〃 佐山 昭順

〒105 〇二二 (四三三) 一四三三  
東京都港区芝公園四の七の三五

曹洞宗大本山 永平寺

貫首 山田 靈林

副貫首 秦 慧玉

監院 加藤 黙堂

福井県吉田郡永平寺町

曹洞宗大本山 総持寺

貫首 岩本 勝俊

副貫首 乙川 瑾映

監院 渡辺 秀雄

横浜市鶴見区鶴見二の二の一

妙見宗宗務本庁

宗務総長 青木 法鷹

大阪府豊能郡能勢町野間中七一八  
〇七二七 (三七) 〇〇二八

真言宗中山寺派

大本山 中山寺

宝塚市中山寺二の十一の一

東京本願寺

輪番 藤井 香嶺

東京都台東区西浅草一の五の五

# 謹 賀 新 年

真言宗豊山派

総本山 長谷寺

化主 鳥居敬誉

事務長 川田聖見

執事 樋口弘明

〃 小林昌司

〃 南波義範

〃 門屋大寿

奈良県桜井市初瀬七三一  
〒633-0107 四四四(七)七〇〇一

真言宗智山派大本山

川崎大師平間寺

貫首 高橋隆天

院代原 教運

執事 茂木隆応

総務 馬本克美

川崎市川崎区大師町四〇四八  
〒210 〇四四(二六)三四二〇

真言宗智山派大本山

成田山新勝寺

貫首 松田照應

千葉県成田市成田一  
〇四七六(三二)二二一一

修驗道大本山

高尾山薬王院

貫首 山本秀順

東京都八王子市高尾町二二七七

総本山御寺 泉涌寺

長老 小松道圓

寺務長 藤田俊教

開山月輪大師七五〇年遠忌事務局

総務 渡辺実龍

京都市東山区泉涌寺山内町二七  
〇七五(五六二)一五五一

本山修驗宗

総本山 聖護院門跡

住職 岩本光徹

執事長 宮城泰年

執事 加来徳泉

〃 田中祥雲

京都市左京区聖護院中町

真言宗国分寺派

大本山国分寺

管長 西口公教

宗務長 近藤彰範

大阪市淀川区国分寺町四  
〒531 〇六(三五)五六三七

新西国第二十四番

大本山 須磨寺

管長 小池真禅

神戸市須磨区須磨寺町

# 第一回ブダガヤ結集

## 国際仏教徒多数が参加開く

釈尊成道の聖地ブダガヤに日本寺が建立されて三年、幾多の苦難を克服し、運営も軌道にのりつつある。この聖地において、十二月七〜九日の三日間「第一回ブダガヤ結集」が、主催・国際仏教興隆協会、後援・全日本仏教会のもとに開催され、国際仏教徒多数が参集した。

(七日) 第一日目はお練供養のあと、竹村教智全仏副会長導師のもと法要が厳修され、つづいて開会式では国際仏教興隆協合理事長挨拶のあと、全仏代表として清胤徹昭国際文化局長が挨拶した。

(八日) いよいよ結集の基本的問題にはいり、「仏教興隆に各国仏教徒は如何に協力すべきか」と題して葉上照澄先生の基調講演のあと、各国仏教徒の提案がなされた。

(九日) しめくりとして諸提案事項の整理報告のあと、第一回結集決議がなされて閉会した。(詳細は次号)

### お世話になったチ

### ヤウさんと再会

#### 訪越の仏教徒有志団

一昨年六月に、南ベトナム戦争孤児救援のため、邦貨五百万円をたずさえて訪

越した、日本仏教徒有志(伊東堅純団長)は無事にサイゴン市ジャーディン地区の華嚴寺で伝達式を終えたが、昨年四月北ベトナム軍によって解放されたため、その後の情報は全く途絶えてしまった。

ところが最近になって、当時訪越団が世話になった、東京銀行サイゴン支店勤務のブン・ゴク・チャウさんから伊東師に連絡があり、去る五月日本に來ている旨の吉報があった。チャウさんは、三年前から農業技師として、日本政府から派遣されていた太田康夫氏と解放直前の三月二十九日に、サイゴン市チョロンで結婚式を挙げた。

日訪越団員である伊東師ほか六名は去る十一月二十二日に東京赤坂プリンスホテルにチャウさんらを招いて生々しい当

### 「花まつり」の「ご利用を

#### 各寺院や幼稚園など

春、花、仏教界の喜びのおまつり「花まつり」を、今年もどうやって楽しい行事にしていこうかとお考えのことでしょう。全日本仏教会では昭和四十七年から全国統一のポスターで釈尊のお誕生をお祝いするように普及し、ご利用をいただいております。

明るい春の野に、にっこりと静かに立つて天と地をさすお釈迦様の姿は、見る人の心に安らぎを与えるでしょう。どうぞ本年も同ポスターを各都道府県都市仏



あるいは各寺院、幼稚園にて広くご利用下さいませ。なお、諸事情から花まつりの開催日は違うでしょうが、「四月八日」を強調しポスター上部に「四月八日はお釈迦さまのお誕生日」と刷り込んであります。

◎一枚八十円(三十枚以上は送料本会負担)外国は別途)

時の模様をきき、再会を喜び合った。それによると、結婚式はチョロンの友人宅で挙げたが、解放軍が目前に迫って來ている状態であったので、ゆつたりとしているわけにはいかなかったであろう。四月二十八日に解放軍がサイゴンに進入して來るまでは、市民はいわばパニック状態に陥り、市内は大混乱となったが、いざ赤い兵士達が静かに入城して來るのを見て、徐々に恐怖感は去って行った。北の兵隊は、よりすぐった規律正しい兵士達で、市民に対して決して手荒な態度はなく、きわめて紳士的であった。実際問題からいって、同民族で、お互いに親類の關係者がいたということから、ある兵士は親類の家へ立寄り、手助けしている姿も見られた。しかし日がたつにつれて、規制が各方面にしかれつつあり、自由に出歩くことも制限をうけることもあり、心理的にはかなり圧迫感を拭い得ぬものがあつた。解放当初は、越南寺や印光寺といった大寺への参拝者はまったくなかったが、自分たちがいる間にはかなり規制が解かれたようであつた。救援金を贈った華嚴寺はどうなっているかわからないが、北ベトナム軍がサイゴン方面攻撃の前進基地となつていたので、あるいは被害をうけていたかも知れない。私たちは、解放軍の臨時政府にパスポートの申請を行い、やっと五月中旬に許可があり、日本人妻に対する第一号として、ラオス、タイ経由で帰国することが出来た、と語つた。太田夫妻は現在鎌倉市に居住している。

昭和51年1月1日

# 世界仏教徒会議 日本代表団員募集

まだ参加できます

第十一回世界仏

教徒会議への日本

代表団員を募集し

ておりますが、ま

だ多少の空席があ

りますので、参加

希望の方は至急お

申し込み下さい。

(1) 理事団 日

本を代表して参加

し、会議の議事・

記念の行事など全

てに出席。

(2) スリランカ

訪問団 大会の主

要な行事に参加のあとスリランカ巡拝。

(3) ポロブドール訪問団 大会の主要

な行事に参加のあと、ポロブドールへ。

## 事務局録事 (十二月)

一日 ブダガヤ結集代表団出発

三日 WFB常務理事会へ出発

四日 日宗連理事会

八日 東仏成道会出席  
東京ブティストクラブ・チャ

リティンショー参加

九日 局内会議

十四日 ブダガヤ結集代表団帰国

十八日 菅原大僧正天台宗葬

十九日 局内会議

二十二日 常務理事会

宗務総長会

二十五日 終業

昭和五十一年一月一日発行  
一月号 第二一四号

## 謹賀新年

### 大阪府仏教会

会長 西口 公教  
(国分寺)

副会長 鷲 地 一 隆  
(本照寺)

井 上 文 克  
(妙信寺)

事務局長 川 口 良 信  
(全興寺)

#### 事務局

大阪市大淀区国分寺町四一  
国分寺内  
〒511 〇六(三三五一)五六三七

### 東京都仏教連合会

会長 栗本 俊道

常務理事 一同

幹 事 一 同

事務局員 一同

事務局/東京都北区西ヶ原三の  
十二の六・昌林寺内

### 京都府仏教会

会長 梶 浦 逸 外

副会長 渋谷 有 教

沢 崎 梁 寿

横 井 鶴 洲

事務局  
京都市中京区烏丸通三条下ル公  
益社ビル五階  
〒600

### 財団法人 埼玉県佛教会

会長 石川 隆 惇

副会長 大島 見道

石 塚 大 喜

事務局長 北之内 真 竜

〒336 浦和市高砂四丁目二二一八  
電話〇四八八(六一)二二三八

### 新潟県仏教会

会長 土田 真也

副会長 井上 憲 司

西 塔 西 舜

秋 山 順 成

新潟市古町通一番町  
如来寺内

発行人 桜井大乗  
編集人 清胤徹昭  
発行所 財団法人

全日本仏教会

東京都台東区西浅草一ノ五ノ五(東京本願寺内)  
電話〇三(八四三)六三三(一)三